

第10回 CBI学会 個別化医療研究会

[日時]
2024年2月27日(火) 13:00~17:10

[会場]
岐阜薬科大学 本部キャンパス
第2講義室

岐阜市大学西1-25-4

参加登録はこちらから⇒
(無料)



特別講演 13:05~13:50

演題名 AI・ビッグデータ時代の創薬や医療の可能性

講師 山西 芳裕 先生

名古屋大学 大学院情報学研究科 複雑系科学専攻 生命情報論講座



一般講演 13:50~17:10

13:50-15:00 セッション1：バイオインフォマティクス、ビッグデータ、機械学習

- 野口 義紘 (岐阜薬科大学) 「医療ビッグデータを用いたエビデンスの構築」
- 広藤 咲子 (岐阜薬科大学) 「医薬品副作用データベースを用いたクラスター分析による悪性症候群の解析」
- 安部 賀央里 (名古屋市立大学) 「皮膚感作性評価における *in silico* 予測モデルの開発」
- 宮坂 香海 (岐阜薬科大学) 「機械学習を用いた有害事象報告データベースからのせん妄の予測」
- 松丸 直樹 (岐阜薬科大学) 「ゼブラフィッシュの運動評価を目的とした、Python画像解析プログラムの構築」

15:10-15:55 セッション2：量子化学、分子軌道法、有機化学

- 辻 美恵子 (岐阜薬科大学) 「時間依存密度汎関数理論(TDDFT)計算を用いたペルオキシド光ケージド化合物の反応解析研究」
- 宇田川 太郎 (岐阜大学) 「重水素同位体効果を取り扱うための新規量子化学計算手法の開発と応用」
- 山田 晴輝 (岐阜薬科大学) 「抗腫瘍性二環式オクタデシペプチドのコンフォメーション予測と構造活性相関」

15:55-17:05 セッション3：機械学習、分子動力学計算、分子モデリング

- 遠藤 智史 (岐阜薬科大学) 「抗アンドロゲン作用を示す新規DHR511阻害剤の構造活性相関と構造最適化研究」
- 仲吉 朝希 (広島市立大学) 「分子動力学計算による遺伝子多型がCYP2C8の立体構造に与える影響の推定」
- 大森 聡 (長浜バイオ大学) 「二面角系エラスティック・ネットワーク・モデルによるタンパク質構造変化予測法の開発」
- 難波 里子 (名古屋大学) 「機械学習による治療標的分子の予測と希少疾患への応用」
- 江崎 剛史 (滋賀大学)* 「機械学習を用いた薬物特性の予測とデータ整備ワークフローの構築」

*オンライン発表

情報交換会 18:00~20:00 (会費制)

主催:CBI学会 個別化医療研究会

後援:岐阜薬科大学、CBI研究機構、日本薬学会東海支部、岐阜県病院薬剤師会

問合せ先:岐阜薬科大学 生化学研究室 遠藤智史

TEL : 058-230-8100、E-mail : sendo@gifu-pu.ac.jp



岐阜薬科大学
Gifu Pharmaceutical University

